

びわスポキッズフェスティバルにおける
 仮想市場評価法を用いた経済的価値測定
 山下耀大（競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース）

指導教員 吉倉 秀和

キーワード：びわスポキッズフェスティバル, 仮想市場評価法, 支払意志額

1. 緒言

びわスポキッズフェスティバルは現在無料イベントであり、実際どれくらいの需要があるのか疑問に思った。このようなイベントのことを非市場価値といい、非市場価値を計測する方法に仮想市場評価法による経済価値評価があげられる。そこで、財・サービスの変化に対する人々の金銭的な評価方法である支払意志額を推計した。

本研究はびわスポキッズフェスティバルという無料参加イベントに対して仮想市場評価法に基づく支払意志額を推定することと、今後びわスポキッズフェスティバルが発展するようにフィードバックすることを目的とする。

2. 調査方法

- ・調査対象者:びわスポキッズフェスティバル参加者（子ども）の保護者
- ・調査場所:9月（竜王）・10月（東近江）のびわスポキッズフェスティバル開催場所で計244票回収した。
- ・調査項目:基本属性8項目、スポーツ経験について2項目、びわスポキッズフェスティバルについて3項目、先行研究（石坂・間野, 2010）をもとに支払意志額について5項目で回答を得た。
- ・分析方法:SPSSを用いて単純集計とクロス集計を行い、t検定を行った。

3. 結果と考察

有意差がみられたのは保護者のスポーツ経験別、年代別、参加回数別の3項目であった。

イベント自体に価値は感じられているが、まだ認知度が低いということが考えられ、広告面など成長させる部分が多くあると考えられる。

表1 有意差がみられた項目

	項目	n	平均値 (SD)	t 値	
スポーツ歴	5年未満	88	456.8 (189.8)	2.23	*
	6年以上	84	534.5 (261.2)		
年代	～39歳	100	458.0 (205.9)	2.03	*
	40歳～	80	529.3 (254.9)		
参加回数	1回	127	465.7 (212.3)	2.17	*
	複数回	53	547.1 (264.1)		
				* p < .05	

4. 結論

初参加と複数回参加の違いからびわスポキッズフェスティバルのリピーターを増やすことが重要ではないかと考える。また、各属性からの比較によると500円を上回ることもあり、経済価値があるといえる。

「イベントの回数を増やして欲しい」や「参加できる年齢を広げて欲しい」など、びわスポキッズフェスティバルの参加者や保護者の声をいかに反映し、充実したイベントにするということが望まれる。そのために、参加料制度に変えるとするならば、びわスポキッズフェスティバルはまた、新しいことをする必要がある。

引用・参考文献

石坂圭三・間野義之（2010）プロスポーツチームの地域における経済的価値評価. スポーツ産業学研究. 20（2）：159～171